

シンバイオマス松阪発電所が試運転

非FITでグリーン電力生産

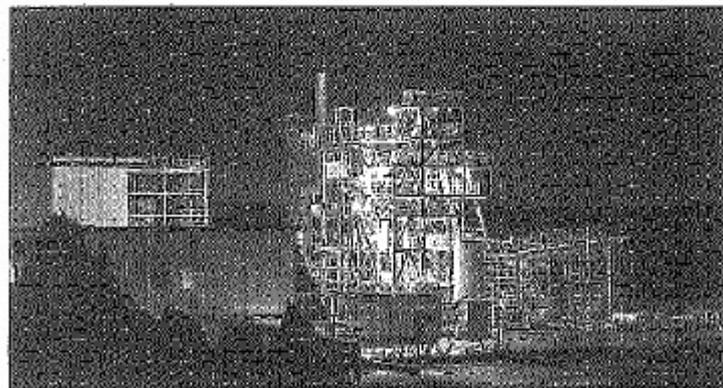
バイオマスパワーテクノロジー

バイオマスパワーテクノロジー（BP
T、三重県松阪市、北角強社長）が完全
NONFIT型木材・製造業生産副産物ハ
イブリッド燃料による脱炭素電源開発事業
に基づいて開発していたエネルギーブラン
ト「パワーエイド三重シン・バイオマス松
阪発電所」が、16日に試運転を開始した。

松阪市木の郷町のウ
ッドピア松阪内に建設
された同発電所は、発

IT型のバイオマス発
電事業を行う。総事業
費は約26億円を見込ん
でいる。

燃料は、ホクト三重
きのこセンター（三重
県・多気町）から排出
される使用済み培地
（廃菌床）や木質チッ
プなど年間約2万70
00トンを使用し、年間
164.7万kWhのタ



パワーエイド三重シン・バイオマス松阪発電所

リーン電力を生産する
計画。同センターに対
してオフサイトPPA
による100%脱炭素

電源を長期
間にわたっ
て循環提供
していく。
スケジュ
ールでは2
025年1
月24日に火
入れ式を行
い、負荷運
転調整や完
成検査を経
て3月16日
に竣工及び
本格運転を
開始する予
定だ。